

地域でできる

ことを考える



©シンエイ／西東京市

ひきこもりの方は、全国で146万人（50人に1人）いるとされており、**誰にでもなりうる問題**です。

私たちの周囲の方がもし、ひきこもり状態になったとき、どのような地域社会であるとよいでしょうか。

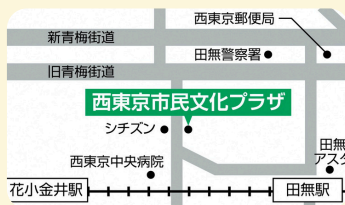
「住民」・「地域」それぞれの視点から考えてみませんか。

ひきこもり問題に “我がこと”に

[日 時] 令和8年3月7日（土）14時～15時半（13時半開場）

[場 所] 西東京市民文化プラザ

（西東京市田無町四丁目15番12号
ONE FOR ALL西東京内）



[参加費] 無料

[対 象] どなたでも

[定 員] 100名（先着順）

[申込み] 電話（042-420-2746）または



から



講師：関水 徹平氏

（明治学院大学社会学部社会福祉学科 准教授）

専門は福祉社会学。ひきこもりや生きづらさ、社会参加（社会と個人の関わり）の難しさに関心を持ち、当事者・経験者、家族、支援者のお話を聞きながら、社会学の立場から考えてきた。その一方で社会参加と関連する社会保障のあり方についても研究を進めている。

主催・問合せ

地域共生課ひきこもり支援係（☎042 - 420 - 2746）

